

台東区

オリンピック・パラリンピック教育プラン

□台東区オリンピック・パラリンピック教育プランの概要

□今後の更なる実施について(確実な推進のために)

台東区教育委員会



台東区について

東京23区部の中心よりやや東側に位置し、上野、谷中、浅草、浅草橋などをはじめ区内には多くの文化・歴史が残り、下町情緒があふれている。学校は地域から「おらが学校」として慕われている。年間約5000万人の方々が観光や買い物に訪れている。

〔面積〕 10.08平方キロメートル(23区で最も狭い)

〔人口〕 約19万人 世帯数約11万世帯

〔学校数〕 小学校19校、中学校7校 (公立)

〔児童・生徒数〕 小学校:約6,500人、中学校:約2,400人 (公立)

〔教員数〕 小中学校:約540人

〔教育予算〕 約141億円(平成26年度)

オリンピック・パラリンピック教育を推進していくにあたり、課題になると思われることは何か。

- ①オリンピック・パラリンピック教育は何のためにするか、教員によってイメージがばらばらである。
- ②推進が「学校任せ」となり、取り組む内容にばらつきが生じる。
- ③活動が総花的になり、あれもこれもとなり目的を見失う。
- ④「活動あってねらいなし」の授業となる。
- ⑤授業づくりの段階で、教材研究・地域との連携など準備する事が多すぎて、なかなか取り組まない。

台東区オリンピックパラリンピック教育プランの概要

大 目 標

台東区オリンピック・パラリンピック教育の目標

- おもてなしの心をもって、友達や他者を大切に、共に生きる人を育てる
- 日本の伝統文化を誇りとし、異文化社会に興味・関心をもち行動できる人を育てる
- 地域や自分を愛し、健康で夢に向かって努力する人を育てる

小 目 標

め ざ す 子 供 像

<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックスポーツにかかわり、主体的にスポーツに親しむ子 ・体力向上に努め、健康な体づくりに努める子 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の文化に対する理解を深める子 ・異なる習慣や文化をもった人々とコミュニケーションをとる子 ・日本の伝統・文化に触れ、日本の良さを発見し、諸外国に広める子 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて心配りのできる「おもてなし」をもって接することができる子 ・ボランティア活動等を通じて、地域社会に貢献できる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や理想を目標にかかげ、強い気持ちをもって、その達成に向けて努力し行動する子 ・他者の立場や能力を理解し、尊敬する子 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックスポーツの理解を深め、障害者、高齢者、子供など、様々な人々を受け入れ、共に生きていく子 ・生命や自然に関心を持ち、環境の保全や美化の維持に主体的に参画する子
---	---	---	--	---

領 域

スポーツ・健康	国際理解	おもてなし	こころざし	ユニバーサルマナー
---------	------	-------	-------	-----------

本プランにおける特色ある主な活動

国際理解

- ・観光地における外国人とのコミュニケーション
- ・留学生との交流 など

おもてなし

- ・一校一おもてなし運動
- ・社会奉仕等 など

こころざし

- ・「こころざし教育」副読本の活用
- ・立志式（中学校全校）の実施 など

ユニバーサルマナー

- ・福祉体験
- ・障害者スポーツ体験 など

□今後の更なる実施に向けて

地域・社会の中で発揮できる力を育成

地域・社会の力をいただく

【教育委員会の役割】

→教育施策として… 環境整備の充実

- 学びのキャンパスプランニング事業(計98プラン)
- こころざし教育・立志式の実施
- 英語活動の充実・支援
- 地域参加への支援 など

これまでの取り組みと今後の予定

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
プラン策定	情報収集 資料分析	策定委員会設置・検討 プラン試行実施 成果発表	プランに基づき実施 教育要領・シラバス・教材作成
推進校	スポーツ教育推進校 小:5校、中:2校	都・推進校 小:5校、中:1校	区・推進校 小:1校、中:1校 都・推進校 小:9校、中:3校 計 14/26
学校教育ビジョン	学びのキャンパスプランニング プラン数増加 ころざし教育の実践 ころざし教育副読本改定 外国人講師(ALT)とのコミュニケーション活動 おもてなし英会話		

今後、確実に実施していくために教育委員会として何をしていくべきか。

- ①学校(園)に任せっきりにしない。(積極的な支援)
 - ・区独自プラン、教育要領、シラバス、実践事例集等の作成
 - ・地域と学校(園)との橋渡しと環境整備 など
- ②教育委員会と校(園)長会と共に知恵を出し合う仕掛けづくり。
 - ・推進委員会と分科会の設置
 - ・推進校の指定と実践の集積・活用
- ③計画的な周知伝達。(いつまでに何をどうするのか)
- ④実施した結果(成果)を定期的に確かめ合う場の設定。